

様式3(第14条関係)

2025年 3月 21日

帝塚山学院大学長 殿

動物実験責任者 楠堂 達也
所属 管理栄養学科
氏名 楠堂 達也
連絡先 内線353

動物実験結果報告書

帝塚山学院大学動物実験に関する規程第12条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1 承認番号	2024-1
2 研究課題名	食餌の違いがラットに及ぼす影響
3 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input type="checkbox"/> 中止
	終了又は中止年月日： 2024年 9月 15日 食餌に含まれる脂肪含量の違いは摂食量に影響を与えたが、体重には大きな影響を与えなかった。血中中性脂肪濃度は脂質含量に比例して増加したが、血中コレステロール値に大きな違いは見られなかった。
4 成果(予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	実験結果を学生に栄養学的に考察させることで、栄養学についての実践的な理解を深めることができた。また、各臓器についての知識を強化することができた。
5 特記事項	

* 動物実験計画書(変更・追加)(書式2)が提出されていること

様式3(第14条関係)

2025年 3月 21日

帝塚山学院大学長 殿

動物実験責任者 楠堂 達也
所属 管理栄養学科
氏名 楠堂 達也
連絡先 内線353

動物実験結果報告書

帝塚山学院大学動物実験に関する規程第12条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1 承認番号	2024-2
2 研究課題名	生活習慣病改善法の開発
3 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input type="checkbox"/> 中止
	終了又は中止年月日： 2025年 2月 22日
	結果の概要： ・マウスにウェスタンダイエットを摂食させ、MASHを誘導し、その病態進行過程を検討した。その結果、ウェスタンダイエットは、MASH作製飼料の一つである高脂肪・高コレステロール食に比べNASH病態を早く進行させることが示された。 ・食事誘導性肥満マウスにFABP1、及びFABP3タンパク質を2週間投与した。FABP3投与マウスにおいて炎症マーカーの減少が認められた。
4 成果(予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	研究成果については、日本農芸化学会2025大会(2025年3月7日)にて発表した。また、第79回日本栄養・食糧学会大会(2025年5月23日)での発表が決まっている。
5 特記事項	

* 動物実験計画書(変更・追加)(書式2)が提出されていること

様式3(第14条関係)

2025年 3月 21日

帝塚山学院大学長 殿

動物実験責任者 楠堂 達也
所属 管理栄養学科
氏名 楠堂 達也
連絡先 内線353

動物実験結果報告書

帝塚山学院大学動物実験に関する規程第12条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1 承認番号	2024-3
2 研究課題名	ビタミンDの新規生理作用に関する研究
3 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input type="checkbox"/> 中止
	終了又は中止年月日： 2025年 2月 2日
	結果の概要： マウスにビタミンD欠乏食を摂食させ、ビタミンD欠乏状態を惹起した。ビタミンD欠乏マウスに、ビタミンD類縁体を投与し、寒冷環境下で1週間飼育した。現在解析中である。
4 成果(予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	研究成果については、データが整った段階で、日本ビタミン学会大会にて発表予定である。
5 特記事項	

* 動物実験計画書(変更・追加)(書式2)が提出されていること

様式3(第14条関係)

2025年 3月 21日

帝塚山学院大学長 殿

動物実験責任者 楠堂 達也
所属 管理栄養学科
氏名 楠堂 達也
連絡先 内線353

動物実験結果報告書

帝塚山学院大学動物実験に関する規程第12条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1 承認番号	2024-4
2 研究課題名	代替タンパク質に関する栄養学的解析
3 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input checked="" type="checkbox"/> 中止
	終了又は中止年月日： 2025年 3月 21日
	結果の概要：
4 成果(予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	
5 特記事項	

* 動物実験計画書(変更・追加) (書式2) が提出されていること

様式3(第14条関係)

2025年 3月 12日

帝塚山学院大学長 殿

動物実験責任者
所属 食環境学部
氏名 足達 哲也
連絡先 0722961331

動物実験結果報告書

帝塚山学院大学動物実験に関する規程第12条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1 承認番号	2024-5
2 研究課題名	中皮腫の予防・治療を目指した食品成分および新規化合物の機能性探索
3 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input type="checkbox"/> 中止
	終了又は中止年月日： 年 月 日
	結果の概要 SH0マウスに培養中皮腫細胞をイソフルラン吸入麻酔科下にて皮下にXenograftを施した。腫瘍体積がおおむね500 mm ³ になったところで、新規化合物をイソフルラン吸入麻酔科下にて投与を行った。期間中、腫瘍体積測定した。 また、C3Hマウスにおける新規化合物の体内動態の検討のため、3種混合麻酔下にて新規化合物を投与し、経時的採血による血中レベルの評価を実施した。
4 成果(予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	新規化合物の効能効果についての結果は、AMED「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業」国際競争力のある次世代抗体医薬品製造技術開発の研究成果として研究開発進捗会議(2025年3月10日開催)にて発表した。
5 特記事項	

* 動物実験計画書(変更・追加)(書式2)が提出されていること